

3

まちづくりの目標

目標

5

都市機能と自然が調和し、
快適さと利便性を兼ね備えたまち

コンパクトで、快適・便利な暮らしができるように、都市拠点には多様で魅力的な都市機能を備え、地域の拠点にも機能的な都市空間が形成された社会になっています。

市民や来訪者が行きたいところへ自由に快適に移動できるように、暮らしや人に寄り添った交通環境が整備された社会になっています。

将来世代に豊かな自然環境を引き継ぐことができるように、人と自然が共生した、誰もが環境負荷の低減を意識して行動する社会になっています。

このような、都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまちを実現します。

P71~

政策 1 機能性の高い都市空間の形成



コンパクトシティの推進

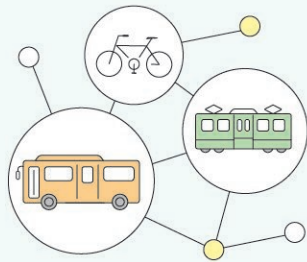


中心市街地の活性化

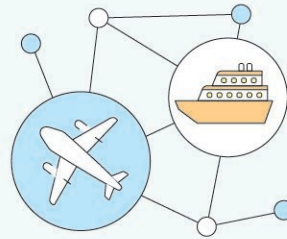
コンパクトで、快適・便利に暮らせる社会

P73~

政策 2 交流・連携を支える都市交通の充実



地域交通ネットワークの充実

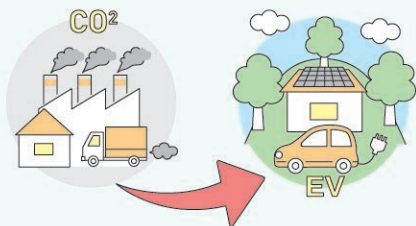


広域交通ネットワークの充実

自由で快適に移動できる交通環境が整った社会

P75~

政策 3 環境と共生する脱炭素社会の実現



ゼロカーボンシティの実現



循環型社会の形成

将来世代に豊かな自然環境を継承していける社会

目標5 都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち

政策
1

機能性の高い都市空間の形成

現状と課題

● コンパクトシティ

本市では、モータリゼーションの進展などを背景とした大型店舗の郊外出店の増加などにより、中心市街地や郊外部の拠点密度が低下し、都市機能が拡散して、都市活力の喪失や生活利便サービスの撤退・縮小、道路等の新たな整備による維持管理費用の増大など、様々な課題が出てきています。

そのため、人口減少社会においても、将来にわたり、市民が安心して暮らし続けられるよう、市内17か所の集約拠点の医療・福祉・商業等の都市機能を維持し、それぞれの拠点間の連携を高める公共交通を基軸とした集約型都市構造を構築していくことが求められています。

また、土地利用に当たっては、用途地域の当初指定を行ってから20年以上が経過しており、これまでの土地利用状況の変化を的確に把握し、地域の特性等を踏まえるなど、まちづくりの方向性と整合のとれた用途地域に見直す必要があります。

今後においても、持続的な都市の発展が可能となるよう、土地の有効活用や高度利用を図りながら、集約拠点への都市機能や居住の誘導を行い、コンパクトなまちづくりを推進していく必要があります。



● 中心市街地活性化

本市の中心市街地は、サンポート高松や中央通りに立地する行政機関や大手民間企業の支店、全国有数の規模を誇る中央商店街など、都市機能が集積しており、瀬戸内海周辺に広がる圏域の中核拠点としての役割を担っています。

これらの主要な機能を維持・発展していくためには、中核都市としての質の高いサービス機能の充実や魅力のある商業空間の創出、中央商店街の空き店舗率の改善など、人が集い交流できる環境を整備し、居心地が良く、歩きたくなる空間づくりが求められています。

また、魅力あるシーフロントの形成、民間活力の導入による中央公園の新たな魅力づくり、中心市街地の魅力の包括的な情報発信などにより、にぎわいのある交流空間を形成し、まちの回遊促進に取り組む必要があります。



政策の方向性

人口動態やライフスタイルの多様化に伴う居住地・ニーズの変化、土地利用の動向、それぞれの集約拠点の機能・役割分担などを踏まえて、機動的で柔軟な土地利用の規制、誘導策の検討・実施、都市機能の集積を推進し、コンパクトなまちづくりを実現します。

サンポートエリアを核とするシーフロントや中心市街地の魅力・回遊性の更なる向上、民間活力の導入による中央公園の新たな魅力づくり、中央商店街の活性化により、まちなぎわいを創出します。



サンポートエリア



高松丸亀町商店街のにぎわい

政策
1

「機能性の高い都市空間の形成」
のもと取り組む施策

施策 1 コンパクトシティの推進 施策 2 中心市街地の活性化

目標5 都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち

政策
2交流・連携を支える
都市交通の充実

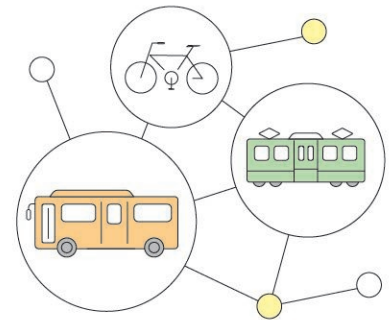
現状と課題

● 地域交通ネットワーク

本市では、道路舗装率が高いことや市街地における交通空白・不便地域が散在しているため、現行バス路線網の再編など、公共交通体系の見直しや自動車に依存しないライフスタイルの実現により、公共交通と自転車を活用したまちづくりを展開していくことが求められています。

人口減少、少子・超高齢社会において、全ての市民が安全で快適な生活を送るためには、地域公共交通ネットワークの確保・維持は喫緊の課題であり、総合都市交通計画等の各種既存計画の整理を行い、持続可能な交通ネットワークを構築していく必要があります。

そのため、ハード・ソフト両面からの公共交通ネットワークの再構築、多様な交通手段を組み合わせた移動を可能とする交通結節拠点への円滑なアクセス道路等の強化、平坦な地形、温暖少雨な気候をいかした環境に優しく、利用しやすい自転車の安全・快適な利活用が求められています。

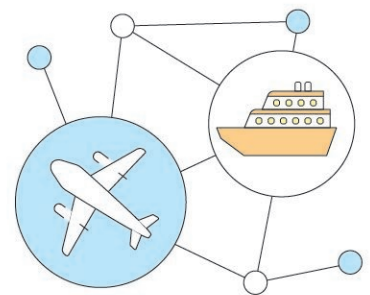


● 広域交通ネットワーク

香川県との連携による高松空港における国際線の拡充や瀬戸内国際芸術祭の開催などにより、県内観光客数は年々増加傾向にあり、今後も増加が見込まれるヒト、モノの需要に的確に対応するため、就航路線や空港ターミナルの拡充など、利便性の向上に向けた取組が求められています。

また、香川県内の港湾において、唯一の定期コンテナ航路を有する高松港の外貿コンテナの取扱量は、年々増加しており、引き続き、高松港における船舶の大型化や貨物のコンテナ化への対応、大規模地震に備えた岸壁の延伸など、物流の機能強化と効率化に向けた取組が必要です。

さらに、鉄道については、四国新幹線が構想段階の状態、約50年が経過しており、今後、整備に向けては、政官民が連携し、市民の機運醸成に向けて取り組むことが重要です。



政策の方向性

鉄道とバスによる公共交通ネットワークの再構築や瀬戸内エリアにおける中枢拠点性を高める道路ネットワークの充実により、市民生活の利便性の向上や経済活動の活性化を実現します。

また、行政や交通事業者だけでなく地域住民とも連携を図りながら、公共交通空白地等におけるコミュニティバスやタクシーを活用した新しい移動手段の導入など、地域の実情を踏まえた効率的で持続性の高い公共交通網の構築を推進します。

レンタサイクルを利用する際の利便性の向上や自転車通行空間等の整備を推進し、自転車の利用を促進します。

高松空港や高松港の機能拡張や拠点機能の充実、四国新幹線を始めとする広域鉄道ネットワークの整備促進を通じて、四国・瀬戸内エリアの玄関口としての拠点性を発揮します。



JR高松駅



高松空港

政策
2

「交流・連携を支える都市交通の充実」
のもと取り組む施策

施策 1 地域交通ネットワークの充実

施策 2 広域交通ネットワークの充実

目標5 都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち

政策
3環境と共生する
脱炭素社会の実現

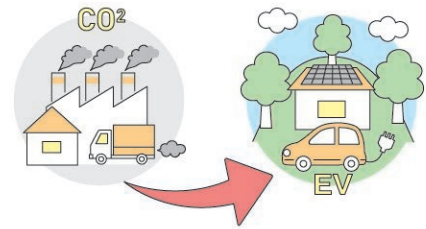
現状と課題

● ゼロカーボン

本市では、令和2(2020)年12月にゼロカーボンシティを宣言し、令和32(2050)年までに市内の二酸化炭素排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティの実現に向けて、市民や事業者、関係機関と連携を図りながら、脱炭素型ライフスタイルの普及促進に取り組んでいます。

地球規模で気候変動の影響が顕在化する中、本市においても、より一層の二酸化炭素排出量の抑制に向け、再生可能エネルギーの導入拡大や省エネルギーの推進など、各種施策の着実な推進が求められています。

また、地域の脱炭素化と産業競争力の向上の両立を目指して、クリーンエネルギーへの転換により経済社会システムの改革を図るグリーントランスフォーメーション(GX)を推進することが求められています。



● 循環型社会

本市では、「高松市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、廃棄物の減量・資源化を推進しており、市民一人の一日当たりのごみ排出量は、減少傾向にあります。

今後、ゼロカーボンシティの実現に向けた資源循環型社会の実現を加速させるためには、市民、事業者、行政が一体となり、2R(リデュース(ごみの排出抑制)、リユース(ごみにせず再使用))を優先的に推進しながら、資源化が可能なごみのリサイクルを徹底していくことが求められています。

また、環境負荷の少ない循環型社会を形成するため、ごみの適正処理の周知や不法投棄の未然防止・早期発見、自然環境の保全・美化の啓発を担う人材の育成、市民一人一人が環境について正しい知識を学び、実践していく機会の創出などに取り組むことが重要です。

さらに、廃棄物を適正、安定的・効率的に処理するために、次期ごみ処理施設の整備と既存のごみ処理施設の維持・補修を適切に行う必要があります。



政策の方向性

再生可能エネルギーの利用促進や環境配慮行動に関する意識啓発、さらには、環境面だけでなく、産業競争力の向上や社会経済システムの改革にも資するグリーントランスフォーメーション(GX)の推進により、ゼロカーボンシティを実現します。

脱炭素型ライフスタイルへの転換につながる行動を推進する「脱炭素型行動推進員」との連携による全市一体となったごみの減量や資源化の推進、環境に配慮した適切な廃棄物処理や不法投棄の防止に取り組みます。

また、市民、事業者、行政が、自然との触れあいを通じた環境学習や環境活動に参画し、一体となって循環型社会を構築します。



ビーチクリーンアップ



プラスチック容器包装ごみ処理工場見学会

政策
3

「環境と共生する脱炭素社会の実現」
のもと取り組む施策

施策 1 ゼロカーボンシティの実現

施策 2 循環型社会の形成